

Title	松田隆美教授略年譜・研究業績
Sub Title	Biographical resume & list of publication of Professor Takami Matsuda
Author	松田, 隆美(Matsuda, Takami)
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2022
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.123, No.3 (2022. 12) ,p.[i]- xiv
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	松田隆美教授退任記念論文集
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01230003--005

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

松田隆美教授
略年譜・研究業績

松田隆美教授 略年譜

- 1958年2月3日 兵庫県姫路市に生まれる。
- 1972年9月 東京都世田谷区立緑丘中学校からアメリカ合衆国ニューヨーク州公立ママロネック高校(Mamaroneck High School)に転入。
- 1975年9月 国際基督教大学教養学部人文科学科入学（1979年6月卒業）。
- 1980年4月 慶應義塾大学大学院文学研究科英米文学専攻修士課程入学（1982年修了）。
- 1982年4月 同博士課程入学（1986年満期修了退学）。
- 1983年10月 英国ヨーク大学大学院Centre for Medieval Studies, M.A.（修士）課程留学。博士課程進学後、1995年にD. Phil. (English)取得（博士学位請求論文‘Death and the Afterlife in the Middle English Religious Lyric: A Study in the Reception and Influence of the Idea of Purgatory’）。
- 1986年4月 慶應義塾大学文学部助手
- 1990年4月 慶應義塾大学文学部助教授
- 1998年4月 慶應義塾大学文学部教授
- 2010年4月 慶應義塾大学デジタルメディアコンテンツ統合研究センター所長（2017年9月まで）。
- 2013年4月 慶應義塾大学大学院文学研究科委員長（2017年9月まで）。
- 2014年10月 慶應義塾大学言語文化研究所所長（2018年3月まで）。
- 2015年4月 日本中世英語英文学会会長（2017年3月まで）。
- 2018年 著書『煉獄と地獄—ヨーロッパ中世文学と一般信徒の死生観』で慶應義塾大学義塾賞受賞。
- 2019年4月 慶應義塾ミュージアム・コモنز機構長（2023年3月まで）。
- 2019年6月 西洋中世学会会長（2023年6月まで）。

〈付記〉

慶應義塾在籍中に非常勤（兼任）講師として、国際基督教大学、清泉女子大学、東北大学、岩手大学、福岡女子大学に出講。

研究業績一覧

著書 (単著)

1. *Death and Purgatory in Middle English Didactic Poetry* (Cambridge: D.S. Brewer, 1997)
2. 『ヴィジュアル・リーディング — 西洋中世におけるテキストとパラテキスト』 (ありな書房、2010年)
3. 『煉獄と地獄 — ヨーロッパ中世文学と一般信徒の死生観』 (ぶねうま舎、2017年)
4. 『チョーサー『カンタベリー物語』 — ジャンルをめぐる冒険』 (慶應義塾大学出版会、2019年)

著書 (共著、編著)

1. (石井美樹子、橋本侃、黒川樟枝、米村泰明、中道嘉彦と共著) *The Six Pageants in the Towneley Cycle: Edited from Huntington Library MS HM 1 and Annotated with a Glossarial Concordance*. (篠崎書林、1987年)
2. (石井美樹子、奥田宏子、黒川樟枝、中村哲子、米村泰明と共著) 『イギリス中世・チューダー朝演劇事典』 (慶應義塾大学出版会、1998年)
3. (アンドルー・アーマー、河内恵子、ウィリアム・スネルと共著) 『アカデミックライティング応用編 — 文学・文化研究の英語論文作成法』 (慶應義塾大学出版会、1999年)
4. (編著) 『西洋精神史における言語観の変遷』 (慶應義塾大学言語文化研究所、2004年) — 「説教の視覚言語 — ロバート・ホルコット『教訓的逸話集』(Moralitates)と寓意擬人像の伝統」 pp.191-209 担当。
5. (河内恵子、坂本光、原田範行と共著) 『イギリス文学と旅のナラティブ — 『マ

- ンデヴィルの旅』から『ドラキュラ』まで』（慶應義塾大学出版会、2004年）—「第1章 死後世界への旅 —『聖パトリックの煉獄譚』と『マンデヴィルの旅』—」 pp. 5-64 担当。
6. *The Medieval Book and a Modern Collector: Essays in Honour of Toshiyuki Takamiya*, ed. by Takami Matsuda, Richard A. Linenthal and John Scahill (Cambridge: D. S. Brewer/ Tokyo: Yushodo, Press, 2004) — “A Pictorial Compendium in British Library, MS Additional 37049”, pp. 233-44.
 7. *Codices Keionenses: Essays on Western Manuscript and Early Printed Books in Keio University Library*, ed. by Takami Matsuda (Tokyo: Keio University Press, 2005) — Takami Matsuda and Satoko Tokunaga, “A Composite Copy of the *Kalender of Shepherdes* in Keio University Library”, pp.119-208.
 8. *The Minds of the Past: Representations of Mentality in Literary and Historical Documents of Japan and Europe*, ed. by Takami Matsuda, Kenji Yoshitake, Masato Izumi and Michio Sato (Tokyo: Centre for Integrated Research on the Mind, Keio University, 2005) — “Hopton Hall MS, fols 9v-13r: An Unpublished Prose Text on the Keeping of the Law of God and a Form of Confession”, pp. 75-83.
 9. (高宮利行と共編)『中世イギリス文学入門 — 研究と文献案内』（雄松堂出版、2008年）—「総論 中世イギリス文学の特色と歴史」 pp. 11-28, 「キリスト教教化文学」 pp. 77-88, 「中英語の抒情詩と論争詩」 pp. 95-101, 「ヴィジョンとアレゴリー」 pp. 187-91, 「アングロ・ノルマン語の文学」 pp. 261-66, 「中世イギリス文学と美術史」 pp.309-16 担当。
 10. (原田範行、高橋勇と共編)『中世主義を超えて — イギリス中世の発明と受容』（慶應義塾大学出版会、2009年）—「ヴィジョンからアレゴリーへ — 死後世界の断片化と中世の終わり」 pp. 27-51 担当。
 11. (河内恵子と共編)『ロンドン物語 — メトロポリスを巡るイギリス文学の700年』（慶應義塾大学出版会、2011年）—「第一章 中世 — チョーサーの時代」 pp. 1-33 担当。
 12. (編著)『貴重書の挿絵とバラテクト』（慶應義塾大学出版会、2012年）—「時禱書の物語性と教訓性 — 『ローマ式典礼の時禱書』（パリ、1525年）をめぐる』 pp.125-50 担当。

13. (編著)『書物の来歴、読者の役割』(慶應義塾大学出版会、2013年)―「エリザベス1世の侍女の時禱書―「フィトン時禱書」の特色と来歴」pp. 99-131 担当。
14. (徳永聡子と共編)『世界を読み解く一冊の本』(慶應義塾大学出版会、2014年)―「世界を読み解く一冊の本―ヨーロッパ中世・近代初期の象徴事典の系譜」pp.79-96 担当。
15. (編著)『旅の書物 / 旅する書物』(慶應義塾大学出版会、2015年)―「旅の書物 / 旅する書物―近代イギリスのイタリア旅行記とガイドブック」pp. 105-31 担当。

展示図録

1. (目録分担執筆)『Treasures of the Keio University Library / グーテンベルク聖書収蔵記念 慶應義塾大学図書館稀覯書展』(慶應義塾大学、1996年)―展示：慶應義塾三田キャンパス (1996.10.14-15)。
2. 『寓意の鏡―16・17世紀ヨーロッパの書物と挿絵』(慶應義塾図書館、1999年)―展示：丸善・日本橋店 4F ギャラリー (1999.1.25-30)。
3. (編著)『*Mostly British: Manuscripts and Early Printed Materials from Classical Rome to Renaissance England in the Collection of Keio University Library* / ローマ帝国からイギリス・ルネサンスへ―慶應義塾図書館蔵稀覯書展』(慶應義塾大学、2001年)―展示：慶應義塾大学三田キャンパス旧図書館 (2001.12.8-9)。
4. (佐々木孝浩、住吉朋彦と共著)『義塾図書館を読む―和・漢・洋の貴重書から―』(慶應義塾図書館、2007年)―第20回慶應義塾図書館貴重書展示会：丸善日本橋本店 4F ギャラリー (2007.1.26-31)。
5. (共著)『東西の絵入り本―1400～1700年―I 絵入り本の比較研究に向けて』(慶應義塾大学絵入り本プロジェクト、2011年)―展示：慶應義塾大学アート・スペース (2011.11.28-12.16)。
6. 『古典絵入り本の東西―西洋中世写本の世界』(慶應義塾大学絵入り本プロジェクト、2012年)―展示：丸善名古屋栄店 (2012.3.15-20)。
7. 『信仰と学問―西洋中世写本の世界』(慶應義塾図書館、2012年)―慶應義

- 塾図書館第 293 回企画展示：慶應義塾図書館（2012.6.6-30）。
8. (高橋智、徳永聡子と共著)『活字文化の真髄 — 日本の古活字版と西洋初期印刷本 —』(慶應義塾図書館, 2015 年) — 第 27 回慶應義塾図書館貴重書展示会：丸善日本橋本店 4F ギャラリー (2015.10.7-13)。
 9. 『究極の質感 (マテリアリティ) — 西洋中世写本の輝き』(慶應義塾図書館、2019 年) — 第 31 回慶應義塾図書館貴重書展示会：丸善日本橋本店 4F ギャラリー (2019.10.2-8)。
 10. (徳永聡子と共著)『(西洋) 文字景 — 慶應義塾図書館所蔵西洋貴重書にみる書体と活字』(慶應義塾図書館、2021 年) — 慶應義塾図書館第 354 回企画展示：慶應義塾図書館 (2021.4.14-5.29)。

研究論文

1. “The Linear View of the World in *Sir Gawain and the Green Knight*” 『Colloquia』 (慶應義塾大学大学院文学研究科英米文学専攻) 2(1981), 1-28.
2. “*Sir Orfeo* as a Story of Growth” 『藝文研究』 42(1981), 283-306.
3. “The *Ubi Sunt* Passages in Middle English Literature”, 『英文学研究』 英文号 (1983), 65-83.
4. 「*Ubi Sunt* と *Ubi Erunt* — ME 宗教叙情詩におけるラテン的伝統」『英語青年』 (1983.3), 728-29.
5. 「中世イギリス文学と現世無情 — スタンザ詩『アーサー王の死』をめぐって」『現代文学』 28(1983), 42-59.
6. (共編) “The Catalogue of the Content of *Reliquiae Antiquae*, compiled by Professor Fumio Kuriyagawa and revised up to date by Takami Matsuda and Keiko Shimonomoto” 『藝文研究』 45(1983), 297-342.
7. “The *Awntyrs off Arthure* and the Arthurian History”, *Poetica* 19(1984), 48-62.
8. “The Twelve Ages of Man” 『慶應義塾大学日吉紀要 — 英語英米文学』 4(1986), 1-23.
9. 「12 世紀ラテン語散文 *Meditationes Piissimae* (訳・解説)」『慶應義塾大学日吉紀要 — 言語・文化・コミュニケーション』 3 (1987), 72-86; 5(1989), 1-26.
10. 「羊飼いの劇の図像 — ナラティブとデイヴォーション」『慶應義塾大学日吉紀

要 — 英語英米文学』9(1988), 66-87.

11. “Death and Transience in the Vernon Refrain Series”, *English Studies* 70(1989), 193-205.
12. 「チョーサーの「メリベウスの話」と prudentia」『藝文研究』58(1990), 243-56.
13. “The Presence of Purgatory in Two Debates in BL MS Addit. 37049”, in *Chaucer to Shakespeare: Essays in Honour of Shinsuke Ando*, ed. by Toshiyuki Takamiya and Richard Beadle (Cambridge: D.S. Brewer, 1992), pp.99-110.
14. “Death, Prudence, and Chaucer’s *Pardoner’s Tale*”, *Journal of English and Germanic Philology* 91(1992), 313-24.
15. “A Note on Chaucer’s Purgatory”, in *Text and Language: Beowulf, Chaucer and Related Works*, vol.1, ed. by Shunichi Noguchi (Tokyo: The Centre for Medieval English Studies, 1996), pp.35-43.
16. 「チョーサーの「騎士の話」と死後の世界」『藝文研究』71(1996), 184-96.
17. 「『薔薇の名前』のコスモロジー — 中世ヨーロッパの情報検索と「世界という書物」」『ドキュメントの時代』(富士ゼロックス, 1997年), pp.57-62.
18. “Griselda and her Virtues”, 『藝文研究』73(1997), 27-47.
19. “The Reception and Influence of ps.-Bernardine *Meditationes Piissimae* in Middle English”, in *The Medieval Translator* 6, ed. by Roger Ellis, René Tixier, and Bernd Weitemeier (Turnhout: Brepols, 1998), pp.285-305.
20. 「レビヤタンと地獄の口 — *Moby-Dick* への中世的マルジナリア」『藝文研究』75(1998), 159-70.
21. “Emblem Books in Some Seventeenth-Century ‘Vanitas’ Still-Life Paintings”, *Colloquia* (Keio University), 20(1999), 73-79.
22. 「ナラティヴ・ジャンルの「権威」への挑戦 — 『カンタベリ物語』の場合」『英語青年』(2000. 11), 493-95.
23. 「Roma fuit’ — 15-17世紀のイギリス人旅行者にみられるローマ像の変遷」金子雄司、大西直樹編『言葉と想像力』(開文堂出版, 2001年) pp.1-17.
24. 「所有される自然 — ヨーロッパ中世文学の自然・環境・風景」柴田陽弘編『自然と文学 — 環境論の視座から』(慶應義塾大学出版会, 2001年) pp.32-69.
25. “The *Summoner’s Prologue* and the Tradition of the Vision of the Afterlife”, *Poetica* 55(2001), 75-82.

26. 「抒情詩のことばとジャンル — 中英語宗教抒情詩写本のコンテクストに関する考察」中川純男編『西洋精神史における言語観の諸相』（慶應義塾大学言語文化研究所、2002年）pp.171-83.
27. 「『マンデヴィルの旅』と近代旅行記の起源」『藝文研究』86(2004), 126-36.
28. 「中世英語の宗教写本における *compilatio* と *ordinatio* — Bodl. Libr. MS Douce 322 を中心に —」飯田隆編『西洋精神史における言語と言語観 — 継承と創造』（慶應義塾大学言語文化研究所、2006年）pp.283-303.
29. 「眼差しのみこころのイタリア — 近代初期イギリスと風景の誕生」柴田陽弘編『風景の研究』（慶應義塾大学出版会、2006年）pp.127-61.
30. 「テクストからコンテクストへ — 中世英文学研究と現代」*Studies in Medieval English Language and Literature*, 21(2006), 21-28.
31. “*Sir Gawain and the Green Knight* and St Patrick’s Purgatory”, *English Studies* 88(2007), 497-505.
32. 「中世学者としての西脇順三郎」『英語青年』（2008.1）, 18-21.
33. “*Le Compost et kalendrier des bergiers* (Paris, 1497) – A Preliminary Description”『藝文研究』95(2008), 550-79.
34. 「15世紀後半にルーアンで制作された時禱書（慶應義塾図書館蔵）の書物史的研究」佐藤道生編『慶應義塾図書館の蔵書』（慶應義塾大学出版会、2009年）, pp.157-71.
35. 「西洋中世における絵入り本 — 写本の周縁のイメージを中心に」『藝文研究』98(2010), 128-39.
36. 「Derek Brewer 旧蔵「神話学」コレクション」佐藤道生編『名だたる蔵書家、隠れた蔵書家』（慶應義塾大学出版会、2010年）pp.65-85.
37. 「テクストを見るディヴェーション — BL MS Additional 37049 におけるイメージの機能」『西洋中世研究』3(2011), 86-106.
38. 「トロープからナラティブへ — 西洋中世におけるアレゴリーの展開 —」竹下政孝・山内志朗編『イスラーム哲学とキリスト教中世 II 実践哲学』（岩波書店、2012年）, pp.209-40.
39. 「「羊飼いの暦」と占星術 — 中世後期における暦と人生設計 —」『シンポジウム「絵入り占本の国際的比較研究」報告書』（慶應義塾大学戦略的研究基盤形成支援事業「15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形

- 成]、2012年) pp. 41-53.
40. 「中世ヨーロッパは超自然をどうとらえたか — 12世紀イングランドの死後世界とヴィジョン —」『藝文研究』104(2013), 112-125.
 41. 「イタリアをめぐるガイドブックの旅 — 15～19世紀のイギリス人向けイタリア旅行案内 —」『イタリア図書』Nuova Serie 49(2013), 2-19.
 42. 「ヨーロッパ中世における死後世界表象 — 地獄と「地獄化された」煉獄」野元晋編『地獄を描く — 宗教思想の絵画表現 ユーラシアの東と西2』(慶應義塾大学戦略的研究基盤形成支援事業「15～17世紀における絵入り本の世界的比較研究の基盤形成」、2014年) pp. 109-23.
 43. 「断片研究と時禱書写本 — 16世紀初頭の時禱書写本零葉をめぐる —」『Colloquia』, 35(2014), 89-103.
 44. 「「近習の話」の中断 — 『カンタベリー物語』における驚異の幻滅」『チョーサーと英米文学：河崎征俊教授退職記念論文集』(金星堂、2015年) pp. 44-59.
 45. “Text and illustration in the margin of late medieval manuscripts”, *Inmunkwahak: The Journal of the Humanities* (Institute of the Humanities, Yonsei University), 103(2015), 81-99.
 46. “Purgatory and Spiritual Healing in John Audelay’s Poems”, in *Medicine, Religion and Gender in Medieval Culture*, ed. by Naoë Kukita Yoshikawa (Cambridge: D. S. Brewer, 2015), pp.123-37.
 47. 「ヨーロッパ中世の俗語文学 — チョーサー『カンタベリー物語』」明星聖子、納富信留編『テキストとは何か — 編集文献学入門』(慶應義塾大学出版会、2015年) pp. 81-104.
 48. 「ヨーロッパ中世写本の挿絵に見る驚異」山中由里子編『〈驚異〉の文化史 — 中東とヨーロッパを中心に』(名古屋大学出版会、2015年) pp. 169-83.
 49. 「イメージの効用をめぐる不安 — 15世紀イングランドの宗教文学をめぐる —」神崎忠昭編『断絶と新生 — 中近世ヨーロッパとイスラームの信仰・思想・統治』(慶應義塾大学出版会、2016年) pp. 115-33.
 50. “Performance, Memory, and Oblivion in the *Parson’s Tale*”, *The Chaucer Review*, 51(2016), 436-52.
 51. “Palmer and *corpus mysticum* in the *Canterbury Tales*”, *Studies in Medieval English*

Language and Literature 32(2017), 1-15.

52. 「もうひとつのデジタル・ジレンマ — ヨーロッパ中世の読書行為から考える記憶と書物」境新一編『アート・プロデュースの技法』（論創社、2017年）pp. 173-200.
53. “The Ravishment of Body and Soul in the *Friar’s Tale* and the *Summoner’s Tale*”, *Spicilegium: Online Journal of Japan Society for Medieval European Studies*, 1(2017), 28-38.
54. “Lie and Fable in Chaucer’s *Manciple’s Tale*” 『藝文研究』 113-2(2017), 29-39.
55. “Collection and Digitization of Western Illustrated Books of Keio University”, *Bulletin of Portuguese - Japanese Studies* 2.2(2016), 127-33.
56. 「注釈の編集文献学 — ヨーロッパ中世文学と注解書写本」 『書物學』 17(2019), 8-14.
57. 「驚異の場としての「聖パトリックの煉獄」」山中由里子・山田仁史編『この世のキワ — 〈自然〉の内と外』（勉誠出版、2019年）pp. 93-108.
58. “A Small Didactic Florilegium in MS Takamiya 15”, *Poetica* 91/92(2019), 15-25.
59. 「『ジョン・マンデヴィルの書』とアメリカの発見」 『藝文研究』 119-1(2020), 5-18.
60. 「vita mixta の伝統と中英語宗教学」赤江雄一・岩波敦子編『中世ヨーロッパの「伝統」 — テクストの生成と運動』（慶應義塾大学出版会、2022年）pp. 21-55.
61. 「珍品蒐集から絵画コレクションへ — 一七世紀イングランドのイタリア旅行案内」伊藤博明責任編集『叡智のアルストピア—オリエントから、そしてすべては、イタリアへ』イタリア美術叢書 VI（ありな書房、2022）pp.203-34.
62. 「信憑性の戦略 — 『ジョン・マンデヴィルの書』をめぐって」納富信留、明星聖子編『フェイク・スペクトラム — 文学における〈嘘〉の諸相』（勉誠出版、2022）pp. 23-54.
63. ‘Chapter 11: Biblical Paraphrase and Poems of Religious Instruction’, in *The Oxford History of Poetry in English, Volume 3: Poetry in English, 1400-1500*, ed. by Julia Boffey and A. S. G. Edwards (Oxford: Oxford University Press, forthcoming)

64. 'Predestination and Free Will in the Old French and Middle English Versions of the *Elucidarium* and in the Middle English *Chastising of God's Children*', in *Medieval Translations and Their Readers*, ed. by Pavlína Rychterová and Jan Odstrčilík, TMT 20 (Turnhout: Brepols, forthcoming)

その他 — 主要な翻訳、書評、報告書、項目執筆等

1. (翻訳 共訳) ロバート・マクラム、ウィリアム・クラン、ロバート・マクニール『英語物語』(文芸春秋、1989年)
2. (翻訳) クリストファー・ブルック『中世社会の構造』(法政大学出版局、1990年)
3. (書評) 松原秀一『異教としてのキリスト教』(平凡社、1990年)『図書新聞』1990年2月17日(第677号)。
4. (翻訳) J. R. R. トールキン「密かなる悪徳」『ユリイカ』24.7(1992), 136-55.
5. 「カンタベリー物語」『世界文学101物語』高橋康成編(新書館, 1996年) pp.30-31.
6. 「William Dugdale と *Monasticon Anglicanum* — 17世紀イングランドの antiquary」『復刻版 イングランド修道院史 (*Monasticon Anglicanum*)』解説(本の友社、1997年)
7. 「イメージとテキストの総合的研究のための文脈データベース」、「初期印刷本のOCR処理をめぐる問題」、「デジタル画像を用いたゲーテンベルク聖書の現地調査」、「書物におけるイメージとテキスト — 16・17世紀ヨーロッパの書物と挿絵」『Visions of a University Research Museum』(慶應義塾大学 HUMI プロジェクト, 1999年) pp.143-48, 149-50, 151-55, 161-67.
8. (書評) 森洋子『シャボン玉の図像学』(未来社、1999)『学燈』96.11 (1999.11), 46-49.
9. (書評) P. van Huisstede & J.P.J. Brandhorst, *Dutch Printer's Devices 15th - 17th century: A Catalogue with CD-Rom* (De Graaf, 1999)『学燈』97.3(2000.3), 52-53.
10. 「ヨーロッパの挿絵本研究 — デジタル化の実際から研究環境の構築まで」

- 『HUmanities Media Interface: Dawn of the Digital Millenium』（慶應義塾大学 HUMI プロジェクト, 2000 年） pp.42-63.
11. (書評) 二村宏江『中世の心象』（南雲堂、2003）『英語青年』（2003.8）, 46-47.
 12. (共著) 『テキスト・イメージ・コンテクストー「見ること」の心性』慶應義塾大学 21 世紀 COE 「心の解明に向けての統合的方法論構築」表象 A・B 班 研究展覧会の記録（慶應義塾大学 心の統合的研究センター、2007 年）
 13. 『『羊飼いの暦』の書誌学的記述とデジタル・エディション』『デジタルアーカイブーその継承と展開』慶應義塾大学デジタルアーカイヴ・リサーチセンター報告書(2006-2009)（慶應義塾大学デジタルアーカイヴ・リサーチセンター、2009 年） pp.119-35.
 14. 「中世の煉獄のヴィジョンとそのゆらぎ」『創文』527(2010.1-2), 41-44.
 15. (翻訳) (共訳) ピーター・M・デイリー監修『エンブレムの宇宙ー西洋図像学の誕生と発展と精華』伊藤博明監訳（ありな書房、2013 年） pp. 109-23, 346-72 担当。
 16. 「慶應義塾ミュージアム・コモンズー三田キャンパスの創造的「空き地」」『三田評論』1242(2020.3), 84-91.
 17. 「新しい景色の創造ーミュージアム・コモンズが紡ぎ出す連想のネットワーク」『三田評論』1254(2021.4), 72-75.
 18. (書評) マリオ・プラーツ『ピクタ・ポエシス』（ありな書房、2022 年）『図書新聞』2022 年 8 月 13 日（第 3555 号）
 19. 「中英語文学」、「中世文学に描かれた死生観」キリスト教文化事典編集委員会編『キリスト教文化事典』（丸善出版、2022 年） pp.152-55.